



学校教育目標：自ら学び、進んで行動し、互いを認め合う生徒の育成

西有田中学校だより

第16号(2025.10.10)

文責：中尾 恵子

至誠一貫

令和7年度の押し返しの時期！

猛暑だった毎日が嘘のように涼しくなりました。「秋の日は釣瓶（つるべ）落とし」ということわざがあります。「釣瓶」とは、井戸から水を汲むために縄などにつけた桶（おけ）のことで、秋は日が暮れるのが急速に早くなっていくことを、井戸の釣瓶が落ちる速さに例えて表現しています。

湿度も低くなり過ごしやすくなる半面、寒暖差による体温調節や疲れによる体調不良も起きやすくなります。

読書の秋、スポーツの秋、食欲の秋、学習の秋…いろいろな秋を満喫するためにも、自己管理をお願いします。

「南瓜・柿・秋刀魚・葡萄・茄子・薩摩芋」
(共通の季節は？ 全部読めますか？)

令和7年度1学期終業式での話

1学期を振り返って（生徒の様子）

☆良いところ

◎あいさつ（気持ちの良い＝自分から、声の大きさ、お辞儀、後ろから）

○体育大会

○落ち着いた授業風景

○感染症予防行動

★改善するところやその様子

▲あいさつの個人差

▲メリハリのある授業態度

▲無言掃除

▲本当にいじめのない学校になっているのかなあ？

いかがでしょうか？

始業式に話したことを再度確認したいと思います。校訓や学校スローガンの変更はありません。

んが、今年度からの新たな「挑戦」と「仲間づくり」を目標に、あらゆる場面で意識した活動や取組をお願いしたところでした。

そこで、2学期からお願いしたいことは、2つあります。

1つ目は、「今、そばにいる、隣にいる仲間を大切にしてほしい」ということです。

奇跡的な確率で、同じ学級で1年間を一緒に送る仲間を大切にできるかどうかで、学校生活の質が変わります。もっと言うと、西有田中学校の雰囲気は左右されます。

苦手なタイプの人や、人のうわさで嫌な感がある人、これまで関りのない人がいると思います。勉強して、いくら良い成績を取っても、体を鍛えて優秀な賞を取っても、人間性が育っていないところに、成長は見られません。

2つ目は、「1年前以上に、いろんなことに挑戦する」です。

令和7年度の半分が終わりました。1年生も随分中学生らしくなってきました。

全校の皆さんにとって、自分を伸ばしたり高めたりするチャンスはたくさんありました。気付いていましたか？

いろんなチャンスで、自分で自分の気持ちを奮い立たせて、自分から取り組む態度を身に付けてほしいと思います。

10月14日から2学期が始まります。この3日間で、これまでの自分を振り返り、仲間を大切にすることや挑戦することの具体的な目標を決めて、2学期を過ごしてほしいと思います。